

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 21 日 (2004.10.21)

【公表番号】特表 2000-500451(P2000-500451A)

【公表日】平成 12 年 1 月 18 日 (2000.1.18)

【出願番号】特願平 9-518905

【国際特許分類第 7 版】

C 07 C 217/32

A 61 P 5/36

A 61 P 5/42

A 61 K 31/138

【FI】

C 07 C 217/32

A 61 K 31/00 606 F

A 61 K 31/00 606 J

A 61 K 31/135 603

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 14 日 (2003.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年11月14日

特許庁長官 殿

1 事件の表示

平成 9年特許願第518905号

2 補正をする者

名称 ザ・ジョージ・ワシントン・ユニバーシティ・メディカル・
センター

3 代理人

住所 東京都千代田区丸の内3丁目1番1号
国際ビルディング8階 曾我特許事務所
〔電話：03-3216-5811〕

氏名 (5787) 弁理士 曾 我 道 照



4 補正対象書類名

(1) 請求の範囲

5 補正対象項目名

(1) 請求の範囲

6 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。

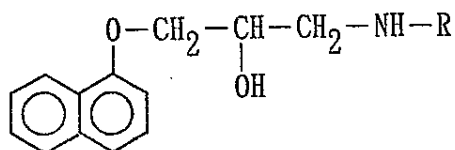


方 式 査 審



請求の範囲

1. 次式の化合物：



ここで、Rは、その少なくとも1個のフッ素原子で置換された1～6の炭素原子の直鎖又は分岐鎖のアルキル基を表す。

2. β -アドレナリンブロッカーとしての活性を有する請求項1の化合物。
3. β -アドレナリンブロッカーとして非活性である請求項1の化合物。
4. L-異性体である請求項1の化合物。
5. D-異性体である請求項1の化合物。
6. 請求項2の化合物と請求項3の化合物を含有する組成物。
7. 請求項3の化合物に対する請求項2の化合物の比が約0.01から0.2の間である請求項6の組成物。
8. 比率が0.05から0.1の間である請求項7の組成物。
9. Rが $-\text{CH}_2\text{CF}_3$ 、 $-\text{CH}_2\text{CF}_2\text{CF}_3$ 、及び $-\text{CH}_2\text{CF}_2\text{CF}_2\text{CF}_3$ からなる群から選ばれる請求項1の化合物。
10. β -アドレナリンブロッカーとしての活性を有する請求項9の化合物。
11. β -アドレナリンブロッカーとして非活性である請求項9の化合物。
12. 請求項10の化合物と請求項11の化合物を含有する組成物。
13. 請求項11の化合物に対する請求項10の化合物の比が約0.01から0.2の間である請求項12の化合物。
14. 比率が約0.05から0.1の間である請求項13の化合物。
15. D-異性体である請求項9の化合物。
16. L-異性体である請求項9の化合物。
17. 心臓血管系の疾患又は障害の処置用の医薬的組成物の製造のための、請求項1の化合物の使用。
18. 心臓血管系の疾患又は障害の処置用の医薬的組成物の製造のための、請求

項 6 の組成物の使用。

19. 心不全、心筋梗塞、アテローム性動脈硬化症、発作、高血圧症、及び虚血／再灌流障害からなる群から選ばれる疾患或いは障害を処置する方法における使用のための、請求項 6 の組成物。

20. 心臓血管系の疾患又は障害の処置用の医薬的組成物の製造のための、請求項 9 の化合物の使用。

21. 心臓血管系の疾患又は障害の処置用の医薬的組成物の製造のための、請求項 12 の組成物の使用。